

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

退屈を知らぬ灯下の栗南瓜
あんど餅ひとつひとつが孫ひまご
栗ご飯つくり置きして忘年会
輪飾りのからから五十年過ぎにけり
街路樹の葉がみな落ちてテレビ塔
小春日や四十歳などもうあらむ

稲田 文江
大山みどり
長谷川アキ
福原 仁子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

町長出題 絆
喧嘩あと絆たよりで足を止め
惚けても絆は強く抱き続け
金婚の絆温めて生きてゆく
色褪せた母の風呂敷愛包み
絆ゆえ兄の一世は悲惨なり
遠く住む友との絆うすれゆく

加藤 未貴
橋本 葉子
山村 幹雄
阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子

川柳

上浦幌句の会

今年も元気で過ごす希望持ち
鳴く小鳥寒さ厳しく元気なく
立冬に鴉の群れの小麦畑
孫幼児晴着姿の七五三
災害のない地に住める幸せを
真夜中に亡夫の笑顔で目をさます
棟木に真赤な夕日今日もくれ
最高峰に臨む男のたくましき

高橋 幹雄
笹島カヨ子
河村みよ子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

何時までも長く続ける縁ありて
皆仲よく心友愛会
集荷場ビートの音で目が覚めた
夜は明けらぬ布団にもぐる
一人身で暮らす寂しさ紛らす
心友愛会皆と過ごす
夜なべして編み物楽しい時忘れ
出来た靴下数増え友へ
八十才で挑むカラオケ練習を
さばれば戻る振り出しに又
当たりまえ思う事には大あなが
落ちる事なく良い事ばかり
父母の法事済ませて胸撫ぜる
身内揃って話に花咲く
全快の兆ありてか友の元
手土産持参笑顔に会いに
犬連れて散歩する道寒々と
北国の冬はそこまで来てる
じわじわと厳冬まじかに迫り来る
女神の息吹樹影さはめき
冬の海砂浜に散るか波の華
波間に立ちて亡き友偲ぶ

堀井あやの
長屋美代子
小澤 つや
浅野 京子
前川 静江
小川 房子
角田美代子
富田さた子
山岸 明美
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■浦幌アイスホッケー少年団が初めて全道小学生選手権大会に進出しました。昭和57年の結成以来、初めてのことです。17人の選手とその保護者だけでなく、アイスホッケーに関わった多くのの人に喜びが広がっています。

■ホームリンクである町アイスアリーナは、少年たちの要望により建設され、平成6年に完成。現在は町アイスホッケー連盟の人たちが運営し、守り続けています。十勝でも数少ない屋内リンクで少年たちは鍛錬してきました。

■大会は新年1月6〜8日、札幌市で開かれます。少年たちが思う存分プレーし、それぞれが輝いてほしいと思います。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。